

令和元年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市大和福祉センター				作成日	令和2年6月30日
	所管課担当名	福祉課 地域福祉担当		課長名	武澤 勝彦	作成者名	平山 建
	指定管理者	名称	株式会社 やさしい手甲府				
		代表者	代表取締役社長 根津 宏次				
		所在地	山梨県甲府市上石田1丁目7番14号				
		指定期間	平成31年(2019年)4月 ~ 令和6年(2024年)3月				
	管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市大和町田野77番地				
		設置目的	市民の健康と福祉の増進を図るため、甲州市福祉センターを設置する。 (甲州市福祉センター設置及び管理条例 第1条)				
		利用者	甲州市内および市外の利用者	施設管理体制	3名	開館日時間等	9:30 ~ 16:30 (日曜・祝日・月曜日・年末年始・臨時休館を除く)
	事業概要	サービス提供の内容					
指定管理業務		(1)福祉センターの利用申請の受付及び利用許可等に関すること (2)福祉センター使用料徴収事務に関すること (3)施設利用にあたってのサービス、指導等に関すること (4)その他日常業務		(5)施設の維持、管理及び修繕(大規模な修繕は除く) (6)備品等の維持、管理及び修理 (7)その他施設の管理に関すること			
自主事業	(1)福祉サービスにおける、地域の方への入浴・食事提供・送迎サービスの実施 (2)施設利用者へ回数券の販売 ・市内10枚綴り2枚分無料利用券を付加 ・市外10枚綴り1枚分無料利用券を付加 ・甲州市民(山梨市民含む)の障害者 10枚綴り3枚分の無料利用券を付加 ・市民以外の障害者 10枚綴り2枚分の無料利用券を付加 (3)自動販売機の設置						
DO	管理運営コスト推移(千円)		令和元年度 (指定期間1年目)	令和2年度 (指定期間2年目)	令和3年度 (指定期間3年目)	令和4年度 (指定期間4年目)	令和5年度 (指定期間5年目)
	予算	指定管理料	12,029				
		利用料金収入	1,140				
		その他収入	24				
		管理運営経費	13,193				
	決算	指定管理料	12,029				
		利用料金収入	726				
		その他収入	11				
		管理運営経費	13,033				
	収支		-267				
施設の移動状況		令和元年度 (指定期間1年目)	令和2年度 (指定期間2年目)	令和3年度 (指定期間3年目)	令和4年度 (指定期間4年目)	令和5年度 (指定期間5年目)	
指標	開館日数(日)	229					
	利用者数(人)	1,368					
活動結果		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の増加を目指し、広報折込チラシや大和地域で行われる民生委員などの会合に出向き、施設周知を行った。 ・枯葉堆積による樋つまり防止のため、屋根の枯葉除去作業及びネット設置を実施。施設周辺の環境整備を実施。 ・貯水槽・貯湯槽洗浄など温泉機器の洗浄や点検、エレベーター内照明LED化工事を実施。 ・令和2年3月3日より新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館。 					
CHECK	評価観点	評価 (5 4 3 2 0) 高 → 低	評価の説明				
	(1)事業の運営	3	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書のとおり適切に管理運営が行なわれている。 ・市民の健康と福祉の増進を図るため、各自主事業を実施。職員勉強会や研修を通じてサービス向上に努めている。今年度は利用者の増加を目指し、広報折込チラシや大和地域で行われる会合に出向き、施設周知を行っている。 				
	(2)施設の維持管理	3	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備については、定期的に保守点検を実施し機能保持に努めている。 ・施設の老朽化を防ぐため屋根の枯葉除去やネットの設置など細かい対応を行っている。 ・温泉施設の管理、清掃など厳格に行いレジオネラ属菌検出防止に努めた。 				
	(3)収入支出	3	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容の見直しによる残業時間の削減、送迎車両のリース化を行い経費削減の取り組みを行っている。 ・経理についても基本協定書、仕様書、条例に基づき適正に行っている。 				
	(4)総合評価	総合評価の説明(施設所管課による一次評価)					
優良 良好 妥当 要改善 不適	妥当		協定書及び事業計画書のとおり適正に事業が実施されている。施設の老朽化が見られるなかでこまめな清掃、修繕、点検など施設維持に努めており、適正な管理運営が出来ている。				
ACTION	評価結果に対する今後の対応						
	当面の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・固定客の高齢化により、市内利用者が年々減少している。施設の周知を行い、新たな利用者獲得を目指しているが、なかなか結果に結びつかない。 ・温泉機器の老朽化が進み、安定した施設運営を行っていくには、大規模な修繕が必要となる。 					
	課題解決への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・改善策検討及び実施について指定管理者と協議し、課題解決に繋げていく。 ・費用対効果の分析を行い、今後の施設の在り方を検討していく。 					
二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)							
<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されている。 ・地域住民に対し、送迎サービスを実施し、利用者の確保に努めている。 ・利用者満足度調査を実施し、利用者サービスの向上に努めている。 ・デイサービスセンターと一体的に管理する中で経費の節減に努め、引き続き、収支の改善に努めていただきたい。 							